

未来を想像しよう、可能性を創造しよう。

EDGE-PRIME Initiative

未来志向型アントレプレナーシップ教育プログラム

令和8年度 受講者募集!!

「なんでだろう?」という日常の気づきから、小さな挑戦をはじめよう。
身の回りの問題に目を向け、自分なりのアイデアを考え、実際に試しながら学び、
ブラッシュアップしていく中で、未来を構想する力とやり抜く力を育てていきます。

エントリー

2026
8/31まで

視点を変える

問題の発見

アイデアのひらめき

ワークショップ

2026
9/26

PoC-H*の理解

最先端技術の体験
(IoT機器や生成AIなど)

PoC-Hへ挑戦

2026
11/30まで

オンラインでのメンター伴走支援

自立・やりぬく力

アントレプレナーシップへの気づき

「当たり前」を疑問に変えて、自分で始める小さな挑戦

プログラムスケジュール

7月1日 ～8月31日	エントリー期間	身の回りに存在しているモヤモヤをヒントに、エントリーフォームからお題に答えていただきます。
9月中頃	参加者決定	エントリーの回答を基に参加者を決定します。 ワークショップを楽しみにお待ちください。
9月26日	ワークショップ	デジタル技術や生成 AI を体験しながら、「ちょっとやってみる」を楽しむワークショップです。
	PoC-Hへ挑戦	PoC-H(Proof of Conceptual Hook) は、「アイデアが人の心をつかむかどうか」を試してみることです。 「モヤモヤから生まれたアイデア」や「やってみたいこと」を、自分で計画して、実際に行動に移してみます。 オンラインでメンターが相談に乗ってくれるので、初めてでも大丈夫。あなたの挑戦を応援します。
11月30日	PoC-Hの成果の提出	この2ヶ月間で試してみたことや気づいたことを、スライドやレポートなどで自由にまとめて提出します。

これまでのワークショップの様子



参加者の声

- ▶最先端のAIやドローンなどの技術に触れながら、「身近な課題をどう解決するか」を考える経験が新鮮で、とても面白かったです。
- ▶考えるだけで終わらず、自分のアイデアを実際に形にできたことが大きな自信になりました。小さく試してみることの大切さを実感しました。
- ▶最初は何をテーマにすればいいか悩みましたが、仲間やメンターとの対話を通して、自分の考えを深めることができました。自分にはなかった視点に出会えたことが、とても刺激的でした。

プログラム概要

プログラム名	未来志向型アントレプレナーシップ教育プログラム
実施主体	宮城大学
プログラム責任者	中田 千彦 (なかた せんひこ) 宮城大学事業構想学群 教授
受講対象者	高校生および高専生(1～3年生) 定員30名程度
実施期間	2026年9月～11月
授業形態	対面ワークショップ + オンラインスクーリング
会場	宮城大学 + オンライン

本事業は、宮城大学のアントレプレナーシップ教育の推進のため、JSTの大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援・EDGE-PRIME Initiativeにより実施しています

エントリー期間

2026年7月1日～8月31日

プログラムの
エントリーはこちら

